学年・教科・担当者	3　年　　数学　　岩上　　直子

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	1章　多項式 1．多項式の計算	○単項式と多項式の乗法の計算ができる。 ○乗法公式を見いだしそれを利用して展開できる。
	5	2．因数分解	○因数分解ができる。 ○乗法公式を利用して因数分解ができる。
2	6	2章　平方根 1．平方根	○平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ○素因数分解ができ、それを利用してある数の平方根を求めることができる。
	7	2．混合をふくむ式の計算	○平方根の乗法、除法、加法、減法ができる。 ○分数を有利化することの意味を知り、有利化できる。
	9	3章　2次方程式 1．2次方程式のその解き方	○2 次方程式やその解について理解する。 ○平方根の考え方を利用して解くことができる。
	10		○解の公式を利用して解くことができる。 ○因数分解を利用して解くことができる。
	11	4章　関数 y＝a xの2乗 1．関数y＝a xの2乗	○2乗に比例することの意味を理解する。 ○式に表す。 ○y＝a x 2乗の式を求める。 ○y＝a x 2乗のグラフを書き、その特徴を理解する。
	12	5章　相似な図形 1．相似な図形 2．平行線と比	○図形の相似の意味と表し方を知る。 ○相似な図形の性質を確認する。 ○相似比の意味を知り、相似比を求めることができる

	1	６章　円 １．円周角の定理	○円周角の意味を理解し、円周角の定理を利用して角の大きさを求めることができる。
	2	７章　三平方の定理 １．三平方の定理	○三平方の定理を理解し、利用して直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三平方の定理の逆を理解する。 ○三平方の定理を利用して、直方体の対角線の長さや、円錐、角錐の高さを求めることができる。
	3	８章　標本調査 １．標本調査	○身の回りで行われている調査には標本調査と全数調査があることを知り、必要性と意味を理解する。 ○標本調査では、標本を無作為に抽出する必要性があることを知る。

評価について	
評価の観点	評価の方法
① 知識・技能 （数式や図形などの用語や性質が分かり、数学の約束にしたがって数学的な表現や処理ができる）	ノート、定期テスト、小テスト　など
② 思考・判断・表現 （数学的なアイデアや理論を大切にし、問題を解くことができる）	ノート、定期テスト、小テスト、課題　など
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業中の取組、小テスト、課題　など